



# かがやき

山形市立第一小学校  
学校だより 第 11 号  
R3.2.22 発行  
校長：田所 昭裕  
児童数 228名  
(2月1日現在)

## 「一小的宝！」かがやき研究

1月27日(水)の午後から、本校の3年生以上の子供たちが取り組んでいるかがやき研究の発表会を行いました。

子供一人一人が探究的に取り組みを進める「かがやき研究」は、75年以上の歴史を持つ本校の特色ある教育活動の一つです。今年度は、6年生の卒業研究を念頭に置きながら、課題解決のために必要な力を計画的に身につけていくことができるよう、全体計画の見直しを図りました。3年生に「みんながくらしやすい学校や町(福祉)」4年生に「学校や地域の今と昔(地域)」の学習を位置付け、体験や見学を通してみんなで学んだことを生かして各自が気になったことを追究しました。そのためにグループで研究を進めた子供たちもおります。共通の学習を行ったことで、内容がより具体的になり、子供同士の交流も豊かになったとの手応えを感じております。

また、テーマに目を向けると、「一小的近くの点字ブロック」「最上義光」「七日町」など身近な題材、「コロナ」「マスク」「印章」などタイムリーな題材、「地球温暖化」「環境問題」「SDGs」など地球規模の題材、そして「保育園」「宇宙」など夢に向かった題材と実に多彩で、子供たちが様々なことに関心を持ちながら生活していることがよくわかりました。

コロナ禍でなかなか思い通りに研究が進められない中、工夫を重ねて最後まで研究をやり遂げた子供たちに、大きな拍手を送りたいと思います。発表会当日は、多くの保護者の皆様方に参会いただき、ありがとうございました。

「一小的宝」かがやき研究を、これからも大切に参ります。



初めての発表(3年生)



エコ活動にチャレンジ!(5年生)



武田理事長による表彰(高学年)

## 雪の山形を存分に楽しんだ 雪上・スキー教室

新たな保険加入など感染予防の対策を取りながら、今年度の雪上教室、スキー教室を予定通りに実施することができました。上学年の子供たちの小学校生活最後のスキー教室は、天候にも恵まれ、子供たちはインストラクターの指導の下で、ゲレンデに思い思いのシュプールを描いていました。

移行期間の今年度は学年で実施回数が異なりましたが、次年度からは中学年(3・4年生)で2回ずつスキー教室を実施することとなります。



# 「個性」を尊重する

## 校長講話の読み聞かせ

2月9日（火）の校長講話では、「くれよんのくろくん」と「くず讃歌」の2冊の絵本の読み聞かせを行いました。

「くれよんのくろくん」は私が大好きな絵本で、子供たちにも大人気です。「くず讃歌」は、山形県で長く小学校教員を務められた新宮郁子さんと工藤悦子さんが作られた絵本で、この度学校に寄贈いただきました。見た目の色や形に関係なくそれぞれによさや持ち味があるという点で、2冊の絵本は共通します。同時に、コロナ禍にあっても「差別や偏見のない社会をめざす」という思いも、子供たちに伝わってくれたらうれしいです。



## 「Let's 世界のあいさつ week」

先週は、生活委員会の子供たちの提案で「Let's 世界のあいさつ week」に取り組みました。日替わりで、インド、イギリス、イタリア、フランス、中国の言葉であいさつを楽しもうという内容です。

のりのりで元気にあいさつを交わしている子供たち、ちょっと照れくさそうに声を出す子供たち、表現の仕方は様々でしたが、みんなが笑顔になれたあいさつ week でした。

「感染予防に努めながら、工夫して新しい学校生活を楽しむ」を合い言葉に、子供たちの中から楽しい企画が立ち上がり、「うれしいわ」の広がりを感じています。



## 今年も大盛況の「おもさかまつり」

おもさか学級の子供たちが知恵を出し合って準備を進めた「おもさかまつり」が、2月15日（月）から2日間にわたって開催されました。

アイロンビーズ、射的、魚釣りなどの会場もアイディア満載で、招待された6年生の子供たちも夢中になって楽しんでいました。



**【おめでとうございます】** 嶋倉みどり事務総括 山形市立学校教職員褒賞受賞！

本校の嶋倉みどり事務総括が、今年度の山形市立学校教職員褒賞を受賞しました。山形市小学校事務部会の会長として、担任の先生方の事務負担軽減や事務職員の連携と業務の協同化に尽力されました。おめでとうございます。